

宝くじ文化公演

熱帯

JAZZ

TROPICAL

BIG BAND

楽団

コンサート



2024年

8月18日 開場 17:00 開演 17:30

名取市文化会館 大ホール

全席指定 一般 2,500円(当日3,000円) 高校生以下 1,500円(当日2,000円)

宝くじの助成により、特別料金になっています。  
※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。  
※前売で完売の場合、当日券の販売はありません。

発売開始

5/25(土) 10:00

プレイガイド

- 名取市文化会館
- 藤崎
- ローソンチケット(Lコード 21831)
- 名取駅コミュニティプラザ
- イープラス
- チケットぴあ(Pコード 268-497)

主催: 名取市 / (公財) 名取市文化振興財団 / (一財) 自治総合センター  
後援: tbc東北放送 / 河北新報社



お問い合わせ 名取市文化会館 ☎022-384-8900

# Profile



我が国のラテン音楽シーンをリードし続けて来たパーカッショニスト、プロデューサーのカルロス菅野が「オルケスタ・デ・ラ・ルス」を脱退後、日本のインストゥルメンタルシーンを代表するミュージシャンを一堂に集めスタートした、ラテン・ジャズ・ビッグ・バンド。

無機質な音楽が溢れている昨今、メンバーが創り出すパワフルなリズムとハーモニーは年齢を問わず幅広い観客を魅了する。個性溢れるメンバー達が「音楽はエンターテイメントだ！」をコンセプトに、ステージ上で正に縦横無尽に、懐かしのラテン名曲は勿論、ジャズ・ファンキー・オリジナルまでとびっきり熱いビッグバンドサウンドを繰り広げる。

現在、17枚のアルバムと2枚のDVDをリリース。バンドスコアブックも出版され、2013年8月には、初となる吹奏楽用譜面集をウインズスコアより発売、全国アマチュア・ビッグ・バンドや吹奏楽部の学生たちからも熱烈な支持を受けている。

NYの「JVC JAZZ FESTIVAL」に2年連続出演するとともに、RMMレコードより3枚のアルバムを全米発売するなど、国内外を問わずワールドワイドに活躍中。

数々のヴォーカリスト、アーティスト達とコラボレーションするとともに、カルロスプロデュースによりMISIA、小柳ゆき、アルベルト・シロマ、マリーンのアルバム等にも参加。

2020年にはバンド結成25周年を迎え、5年ぶりとなる18枚目のニューアルバム「熱帯JAZZ楽団 XVIII~25th Anniversary~」とDVD「ラテン音楽の作法~25th ANNIVERSARY RECORDING MOVIE~」を6/20に発売。



## カルロス 菅野 Carlos Kanno

パーカッショニスト/プロデューサー

1957年東京生まれ。広島県立国泰寺高校卒業後、大学時代を大阪・神戸で過ごす。19才の時ヴォーカリストとして音楽活動を始め、21才の時にコンガを買ったのがパーカッションとの出会いとなる。84年、活動拠点を大阪から東京に変え、松岡直也グループへの加入でフュージョンシーンの表舞台へ進出を果たす。ほぼ同時に「日野皓正&ハバタンバ」「VALIS」「日野元彦アパナイトロプス」等多くのユニット、セッションに参加。



89年に松岡直也グループを脱退。「オルケスタ・デ・ラ・ルス」の一員として自費で訪米し、ニューヨークのクラブ6ヶ所でライブを行う。その後、1990年5月~1995年までオルケスタ・デ・ラ・ルスのリーダーとして世界中を飛び回り、93年に国連平和賞受賞。95年にはグラミー賞ノミネートなどデ・ラ・ルスが日本を誇るサルサバンドへと導いた。95年12月、デ・ラ・ルスを脱退。今の時代のトップミュージシャンを集め、「ラテン・ジャズビッグバンド」をコンセプトにした「熱帯JAZZ楽団」を結成。96年からは玉置浩二ツアーやアルバムにパーカッショニストとして参加。

現在、熱帯JAZZ楽団のプロデューサー、リーダーとして国内で17枚、海外で3枚のアルバムを発表し、98年、99年と2年連続でNYの「JVC JAZZ FESTIVAL」に出演。DVDも2枚発売中。2020年にはバンド結成25周年を迎え周年記念アルバム「熱帯JAZZ楽団 XVIII~25th Anniversary~」を発売。

熱帯JAZZ楽団での活動以外では、2001年10月から多くのミュージシャンとのコラボレーションの場としての新プロジェクト「熱帯倶楽部」を立ち上げ、第一弾ユニットとして「spirit of rhythm」を結成。ビクターより現在までに2枚のアルバムを発売。その後、ラテンジャズ・セッション「Tropijam」「Superjam」等のユニットを展開中。

渡辺真知子コンサートプロデュースや、MISIAの「果てなく続くストーリー」のラテンバージョンプロデュース、バークレー出身のコーラスグループ「Syncopation」の日本デビューアルバムのプロデュース等、多彩なアーティストをプロデュースする。2007年はダイヤモンドのアルベルト・シロマのアルバムをプロデュース。2009年にはマリーンのアルバム「マリーン sings 熱帯JAZZ」をプロデュース。

2008年4月からは大阪芸術大学、客員教授として「ポピュラー音楽演習C」(ラテン・ミュージック概論)を担当。国立音楽大学でもリズム講座を教えている。その他、2005年より中高生へのワークショップを目的とした「神戸ジャズ」をプロデュースするなど、各地でパーカッションクリニックやセミナー等により後進の育成にも精力的に力を注いでいる。



## 宝くじの収益金は

学校、図書館等の教育施設の整備をはじめ、

公園、社会福祉施設等の建設改修など、

皆様の日常生活に役立つように使われています。

このイベントは、宝くじ社会貢献広報事業の一環として実施しています。一般財団法人 自治総合センター